

# 評価委員会における提言

和歌山県公立大学法人評価委員会

公立大学法人和歌山県立医科大学に係る平成22事業年度の業務実績評価の過程において、法人の業務実績に対する評価及び指摘事項等について、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学に対する各委員の提言を、参考までに下記のとおり取りまとめた。

## 記

### 【教育・研究】

- 医師国家試験の合格率は、2年連続して全国平均を下回っており、卒業判定の再評価を含めた具体案の提示など、教育方法の一層の工夫を求めたい。
- 今後、更なる研究活動の発展のために、MD－PhDコースなど多様な履修形態の早期設置を検討されたい。
- 教職員の海外研修が少ないので、交流を含めて検討する必要がある。

### 【附属病院】

- 附属病院本院及び紀北分院が、地域医療に果たす役割は極めて大きいですが、本県のへき地医療の包括的な支援について、現時点では計画されておらず、今後の取組に注目したい。

### 【運営体制】

- 医事及び医薬材料等の購入に関して、専門知識を持った職員の養成・育成を検討されたい。

### 【安全対策】

- 災害等の不測の事態発生時には、附属病院が拠点としての機能を果たせるよう津波対策も含めて、危機管理に努める必要がある。

### 【財務内容】

- アウトソーシングについては、その有効性、効率性を検証しながら、常に点検・見直しをする必要がある。

### 【業務運営】

- より適正な監査を図るため、理事会の開催に際して、少なくとも月1回は、監事の出席を求めるべきである。